



竹中芳弘 議員

災害時に備えて、シニアパワーを活用した組織づくりを

シニアの豊富な経験で人とのつながりを！



男性の料理教室好評（西公民館）

東日本大震災は、平日の昼間に発生し、働き手の多くは家を空けて働きに出ていました。災害後の復旧の中で、地元シニアの方が連携して、大きな力を発揮しました。シニア男性の一部には、料理教室を利用して、食事を人任せにせず、自分できちんと管理し備えたり、趣味として仲間づくりをする人もふえています。仙台市の料理サークル『仙台男子厨房に入ろう会』のメンバーが避難所での炊き出しで

百数十人のサラダと汁物を提供し、大鍋を取り扱い、男ならではの力仕事を連携して行い、緊急時の食事提供に大きな力を発揮されました。消防庁によると、1990年まで100万人いた消防団員は2012年には87万人に減少しており、少子・高齢化に加えて、就労形態の変化で若年層の会社勤めがふえて、団員の平均年齢は35歳から39歳に上がっている。そういったことから、各地の消防団ではシニアを積極的に活用する試みが始まっている。シニアのエネルギーと知識は宝です。町においてもシニアの力を借りた防災組織が必要だと思いがどうか。

町長

各地域の46集落、区長さんを中心に自主防災組織の中に入れてもらい、シニア部隊を結成してもらおう事も必要と考えている。



杭瀬川改修始まる（赤坂地内）

平成25年度の杭瀬川改修は下流から行われており、赤坂大橋下流700m、上流550mの河道掘削と底下護岸工事、さらに宇留生堰の調査設計費の予算も決まりました。5年以内に南部公園付近まで改修が進むと思うが、見通しと、水位の低下についてはどうか。また南部公園の太陽光

杭瀬川改修の見通しと南部公園の機能について

水位計の解消要請中！

発電基地のさらなる活用、グランドゴルフ、野球競技への活用など見通しは。



南部公園の太陽光発電基地

町長

関係機関に強力にお願いして、5年をめどに努力する。河道が80cmから1m下がるので、水位は40cmから50cm下がる。南部公園については、早く水の問題を解決して多くの方に利用してもらえるようにする。